

教育研究データ			
1. 氏名		小田 典子	
2. 生年月		1958 年 12 月	
3. 取得学位		医学博士	
4. 教育業績			
教育上の能力に関する事項		年月	概要
(1) 教育内容・方法の工夫		2019 年 4 月 2019 年 4 月	①主要疾患について，病理学的事項に続けて症状・診断・治療等の臨床的事項を説明するために，病理学各論と臨床栄養学（病態編）を関連づけた病理病態学において，独自のレジメ，自主学修用プリントを作成して配布している。また単元ごとのミニテストを実施し，重要項目の把握，学修習慣の確立に役立てている。 ②疾患による臓器や組織の形態学的変化の画像をパワーポイントで提示し，特に重要な疾患については iPad mini により日本病理学会のコア画像を受講者各自の手元でも閲覧させ，講義内容の理解に役立てている。
(2) 教育方法・教育実践に関する発表，講演等		2019 年 5 月	前年度の病態栄養生理学が学生による授業評価における高評価授業として選出され，授業公開を行った。
5. 研究業績			
(1) 著書		単著 共著 の別	発行の年月 発行所
①臨床栄養学 疾病編[第 3 版] 嶋津孝・下田妙子編 17.2 クリティカルケア(p.269-273)		共著	2014 年 化学同人
②合格ラインに到達する管理栄養士国家試験対策 管理栄養士国家試験研究会編 第 2 章人体の構造と機能及び疾病の成り立ち（5～8）(p.70～88)		共著	2013 年 化学同人
(2) 学術論文		単著 共著 の別	発行の年月 掲載紙および巻/号，頁
①Cytophotometric analysis on nuclear DNA contents of human scirrhou gastric carcinoma		共著	1989 年 Pathology Research and Practice 184, 390-401

②DNA ploidy pattern and amplification of <i>ERBB</i> and <i>ERBB2</i> genes in human gastric carcinomas	共著	1990 年	Virchows Archiv B [Cell Pathology] 58, 273-277
③Ossifying fibromyxoid tumor of soft parts: A case report	共著	1993 年	Jpn J. Clin. Oncol. 23, 64-68
④渡航前予防接種 254 例の解析 —海外渡航感染症対策の検討—	共著	2015 年	『広島医学』68(1), 10-16
⑤海外から帰国し、感染症の疑いのあった受診者の現状と問題点	共著	2018 年	『広島医学』70(2), 82-86
(3) 研究・作品発表	発表の年月		発表学会等
①Advance vaccination planning and travel assessment — Online traveler history is a better workflow for travel clinics in Japan	2017 年 11 月		グローバルヘルス合同大会 2017 (第 21 回日本渡航医学会学術集会)
②渡航者希望のワクチンは医師の助言でどのように変化したか?	2019 年 7 月		第 23 回日本渡航医学会学術集会
(4) 所属学会			
①日本病理学会			
②日本癌学会			
③日本病態栄養学会			
④日本渡航医学会			
⑤日本抗加齢医学会			